添付資料

（一般消費者その他の関係者の理解の増進に資するために必要な情報）

令和８年10月　農林水産省

飲用牛乳のコスト実態調査結果（Ｒ７年度）

【調査の概要】
・飲用牛乳（成分調整牛乳を除く。）を対象に、統計や団体・乳業者を対象に実施した調査をもとにデータを収集。
【留意事項】
・飲用牛乳については、小売価格の分布状況を元に低価格帯（小売価格195円～230円/ℓ程度（税抜き））と高価格帯（小売価格285円～320円/ℓ程度（税抜き））の２パターンで整理。
・生産段階は、「R6年畜産物生産費統計」のうち、都府県の平均飼養規模（50-100頭規模、全算入生産費）の調査結果を基に、農業物価統計等により物価補正して推計。集荷段階は、指定生乳生産者団体を対象に実施した調査結果。
・製造段階は、乳業者を対象に実施した事例的な調査のうち、低価格帯、高価格帯に該当したものを抽出した調査結果。
・小売段階は、小売物価統計における牛乳小売価格の直近５年中最大と最小を除く３年の平均値（５中３平均）（221.6円/ℓ（税抜き）（①））に、「スーパーマーケット年次統計調査」における目標粗利率（日配品：22.9%（②））と、上場スーパーマーケットの財務情報に基づく販売管理費率（96.1%（③））を乗じて得た額（①×②×③）を基準に、価格帯に応じて推計。

※ 実際のコストの積み上げであり、利潤を含まない等、取引価格を示すものではない。

段階	費用項目		調査対象年	調査結果（R7年度） 低価格帯	調査結果（R7年度） 高価格帯
生産・集荷	物財費	飼料費	R6年	60～75	60～75
		敷料費、種付料、獣医師料及び医薬品費		5～10	5～10
		光熱水料及び動力費、賃借料及び料金、物件税及び公課諸負担等		5～10	5～10
		減価償却費（乳牛、建物費、自動車費、農機具費等）		15～20	15～20
	労働費	家族労働費、雇用費		20～25	20～25
	その他生産費	支払利子、支払地代、自己資本利子等		0～5	0～5
	生乳集荷費	輸送費、クーラーステーション経費、検査経費等	R7年度	5～15	5～15
	小計			130～140	130～140
製造	原材料費	包装材料費等	R7年度	10程度	15～20
	製造関係経費	労務費、減価償却費、修繕費、動力費、燃料費、光熱用水費等		15程度	25～30
	一般管理費	労務費、旅費交通費、光熱用水費・通信費、減価償却費、賃借料等		0～5	10程度
	販売費	販売労務費、製品保管料、製品運送費、販促費・広告費等		5～10	45～70
	小計			35～40	100～125
小売	人件費		R7年度	15～20	25～30
	物流費			5程度	5程度
	水道光熱費			5程度	5程度
	減価償却費			5程度	5程度
	地代・家賃			5程度	5～10
	販促費			0～5	0～5
	その他経費			10～15	15～20
	小計			45～50	65～70

注１）各段階の小計は、各段階の費用項目の合計と一致しない場合がある。
注２）生産は統計調査を基に、集荷は聞き取り調査を基に、製造は調査対象となる価格帯における事例的な調査を基に、小売は統計調査等を基に推計しているため、実際の事例が本調査結果の幅に収まるとは限らない。
注３）経営規模や地域、小売価格等によっては、幅が更に大きくなる場合がある。特に、製造では、産地・消費地との距離や設備投資の状況等によって、上記よりも幅が大きい場合がある。また、小売段階では、統計上の目標粗利率を用いて機械的に算出しているが、実際には、商品ごとに粗利率は異なっており、小売段階のコストが今回の推計値よりも低い場合がある。
注４）個別商品における生産・集荷、製造、小売の各段階を追跡したものではなく、あくまで段階ごとに実施した別々の調査結果となっているため、全体の合計額は記載していない。

参考

飲用牛乳のコスト実態調査結果（R７年度）を基にした推計（R８年８月）

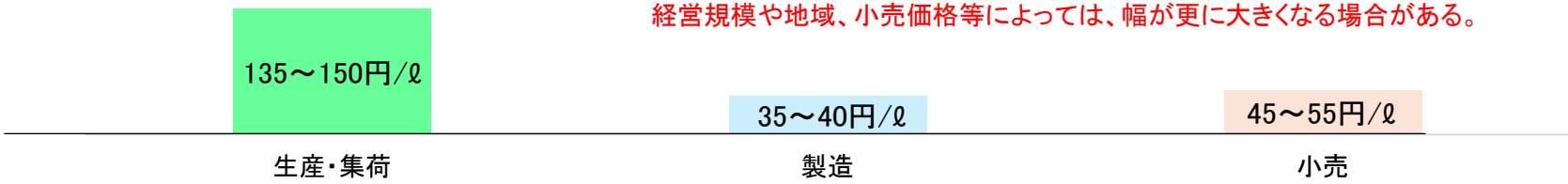
○ 飲用牛乳のコストは、生産・集荷、製造、小売の各段階で、地域、企業規模、商品ごとの違い等による差が大きい場合があり、幅を持って推計。
○ 飲用牛乳は日配品であり、低価格帯、高価格帯ともに、薄利多売により収益を上げることが一般的であるため、店頭価格と積み上げたコストの差が小さい傾向がある。
○ 低価格帯、高価格帯ともに、生産・集荷段階のコストが概ね半分を占めている。

＜低価格帯＞

小売価格
210円/ℓ程度
（税抜き）

○ 低価格帯の牛乳は、主に小売主導で商品企画等が行われるプライベートブランドの商品が多い傾向。
○ プライベートブランドは、企画した小売の店舗等でのみ販売されるものとなるが、その分、製品運送費などの流通コストなどがコストが抑えられる傾向。

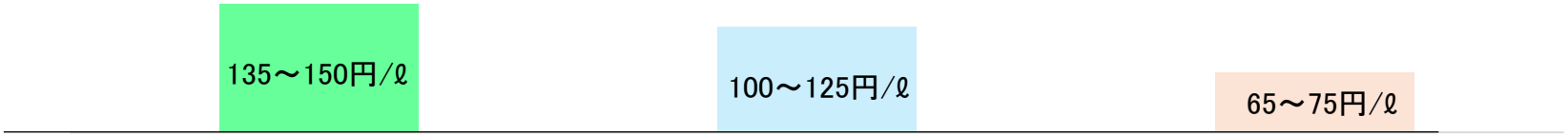
（注）実際のコストの積み上げであり、利潤を含まない等、取引価格を示すものではない。
経営規模や地域、小売価格等によっては、幅が更に大きくなる場合がある。



＜高価格帯＞

小売価格
315円/ℓ程度
（税抜き）

○ 高価格帯の牛乳は、主に、乳業メーカーが通常製造するナショナルブランドの商品が多い傾向。
○ ナショナルブランドは、乳業メーカー独自の商品として、製造段階における独自製法を取り入れた高品質化のための設備投資や、温度管理等のサプライチェーンへの投資、風味変化を抑制するための特殊なパックの使用等を行い、品質が高く、また、幅広い店舗で購入できる商品として、広く流通されている。



一般的に販売されている通常の小売価格帯（小売価格の上下5%を除外）の中での、比較的低価格、高価格な価格帯

生産・集荷
生産段階は、統計調査（生産費統計）、集荷段階は、団体への調査結果を基に推計
※ 生産者の経営規模や地域等によっては、上記よりも幅が更に大きくなる場合がある

製造
事例的な調査結果のうち、低価格帯、高価格帯に該当したものを抽出した調査結果
※ 産地・消費地との距離や個社の経費計上ルール、投資状況等によっては、上記よりも幅が大きい場合がある

小売
統計上の牛乳小売価格（221.6円/ℓ（税抜き））に、スーパーの目標粗利率（22.9%）及び販売管理費率（96.1%）を乗じて算出した額を基準に、価格帯に応じて推計
※ 実際には、商品ごとに粗利率等は異なっており、上記よりも低い場合がある